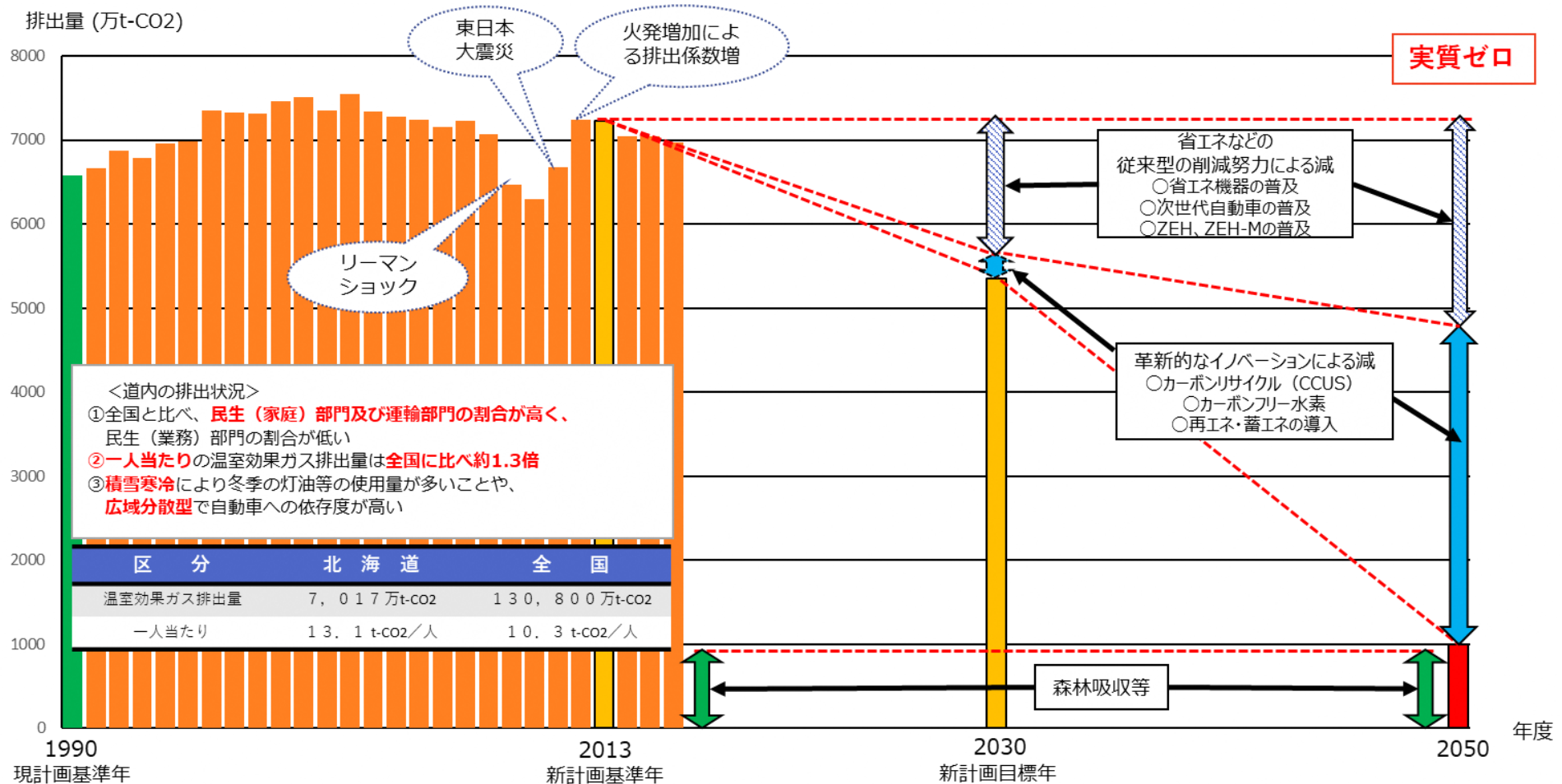


- 【取組の方向性】
- ① 脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換
 - ② 2050年ゼロカーボンの実現に貢献する省エネ・再エネの促進
 - ③ 森林吸収源対策の着実な推進

ゼロカーボンに向けては、革新的な社会システムの転換が求められる



キーワードは 3つの「C」

資料5-2

Change (転換)

- **スタイルの転換** (ライフ・ビジネス)
 - ・省エネ住宅の選択による新たなライフスタイルの定着
 - ・テレワークなどによるビジネススタイルの導入促進 など
- **発想の転換** (環境課題への対応が成長につながる)
 - ・経済と環境が好循環するグリーン社会に向けたESG投資の拡大
 - ・SBTや再エネ100%目標など企業の脱炭素経営の取組の推進 など

北海道の優位性を最大限に活用

- ・豊かな再生可能エネルギー
- ・優れた自然環境など

Challenge (挑戦)

- **あらゆる社会システムの脱炭素化への挑戦**
 - ・再生可能エネルギーのポテンシャルの最大限の活用
 - ・環境・経済・社会が統合的に向上する地域づくり
 - ・森林・農地等の吸収源の確保 など

Creation (創造)

- **革新的なイノベーションによる新たな未来の創造**
 - ・再生可能エネルギー由来の水素社会の構築
 - ・バイオマス等の利活用技術の革新
 - ・北海道の強みを伸ばし、弱みを克服する技術革新 など

ゼロカーボン北海道の実現